

形容詞的用法

1. 形容詞的用法とは

1 形容詞的用法の意味

「～するための…」を意味する不定詞の用法を、形容詞的用法といいます。

2 形容詞的用法の働き

名詞・代名詞を修飾します。語順は、

○ 名詞＋不定詞

このような順番になります。

2. 形容詞的用法の文

1 形容詞的用法の英作文

「～するための…」を表す場合に使います。例えば、

「私は車を直すための道具が欲しいです。」

この文の「車を直すための道具」を表現する場合に形容詞的用法を使います。ここで注意すべき点は、順序が日本語とは逆になることです。

「～するための＋名詞」（日本語）

「名詞＋～するための」（英語）

このように、名詞を先に出さないといけません。

では実践です。上の例文を英作文します。

「私は車を直すための道具が欲しいです。」

まずは、「車を直すための道具」を英語に直します。先ほど述べたように、「～するための＋名詞」の名詞が先に来ますので、この場合は道具を先に置きます。

a tool	to fix my car
(道具)	(車を直すための)
↑	↓
←←←←←←←←	

このような語順になります。ここからはいつもの英作で OK です。

例文：

「私は車を直すための道具が欲しいです。」

⇒ まずは単語に

私は 車を直すための道具が 欲しいです。

(I) (a tool to fix my car) (want)

⇒ これを 主語＋述語＋～. に並べると、

I want a tool to fix my car. (完成)

これで完成です。「～するための…」の部分を to 不定詞で表現することを学んでいけば対応できると思います。

では次に、不定詞のある文とない文を見比べてみます。

例文：

[不定詞なし]

He bought a book.

(彼は本を買いました。)

[不定詞あり]

He bought a book to give her.

(彼は彼女にあげるための本を買いました。)

この2つを見比べたら分かると思いますが、「～するための何か」を表す時は形容詞的用法を使って表現して下さい。

2 注意すべき用法

○ **-thing** の語

形容詞でも触れましたが、**-thing** の単語は「**-thing**+形容詞+不定詞」の語順になります。間に形容詞が入ることに注意して下さい。例えば、

例文：

I want something to drink.

(私は何か飲み物が欲しいです。)

この文に「冷たい」を加えて次の文にするとします。

⇒ 「私は何か冷たい飲み物が欲しいです。」

ここでよく間違えるのが、**cold** の位置です。必ず「**-thing**+形容詞+不定詞」の語順にして下さい。

○ **I want something cold to drink.**

× **I want something to cold drink.**

(私は何か冷たい飲み物が欲しいです。)

○ to+動詞+前置詞

動詞の中には、前置詞が必要なものがあります。

例文：

I fight against them.

(私は敵である彼らに戦います。)

運動会での勇ましい台詞です。しかし、1人では心細いので、仲間を探すことにしました。その時に思った言葉が次の文です。

⇒ 「私は敵である彼らと共に戦う誰かが欲しいです。」

ではこの文を英作します。

形容詞的用法は「～するための…」を表現できるので、この文の「共に戦う誰か」を英訳してみます。1で学習した通り、名詞が先にきますので、

somebody to fight with

となります。ここで注目すべき点は、**with** が必要であることです。なぜならば、

fight with ～ = ～と共に戦う

という熟語になっているからです。では全文を英作します。

例文：

「私は敵である彼らと共に戦う誰かが欲しいです。」

⇒ まずは単語に

私は 敵である彼らと

(I) (against them)

共に戦う誰かが 欲しいです。

(somebody to fight with) (want)

⇒ これを 主語+述語+～. に並べると、

I want somebody to fight with against them. (完成)

これで完成です。このように、熟語になっている場合は前置詞も必要なので、不定詞にする場合は注意して下さい。

Copyright (C) 2008 All Rights Reserved, ちょいデブ親父の英文法